

インド農村部に住む 女性たちに夢を

ジェフリー・メンセンディーク

(関西学院神学部准教授・宗教センター宗教主事)



今年の合同祈祷週礼拝では、ジェフリー・メンセンディークさんを迎え、抑圧や差別の中にいる人たちに「かかわる」ことの意味を学びました。ここに、ご自身が実際にかかわっておられる「友子プロジェクト」のことを書いていただきました。

インド農村部の貧しい家庭の女性たちを支援する「友子プロジェクト」を紹介します。このプロジェクトは2007年、インドにおいて交通事故で亡くなられた渡利友子さんを記念して始まったものです。友子さんは日本基督教団仙台ホサナ教会信徒、高等学校教員、そして2人の女の子の母親であり、女子教育に強い関心を持っておられました。

インド中東部チャッチスガール州にジャルハガオンという小さな村があります。村の高校教師だったヘムラータ・プラカーシュさんは35年ほど前にアジア学院（栃木県西那須野市）で研修生として学びました。その後、村の学校の校長を務めながら、夫と共に、インド農村部の貧しい家庭の生活向上のためにDEEPという小さなNGOを立ち上げて活動を重ねてこられました。DEEPとはヒンディー語で「灯」を意味します。人間が誰でも、与えられた命を皆の見えるところで輝かすことができる社会の実現を目指しています。友子さんはこのヘムラータさんの活動を見学する旅の途中で事故に遭われたのです。友子プロジェクトは、女子教育に対する友子さんの情熱に応えようと、友子さんの夫とヘムラータさんが中心となって始められた教育支援プログラムです。

インドには8年間の義務教育がありますが、農村部においては家庭の事情からドロップアウトする女の子たちが多くいます。男の子は普通に高校を卒業して就職しますが、女の子は家事の助け手として期待されます。教育を受けた経験のない親たちは、教育に対する理解に乏しく、伝統的な考えによって娘たちの夢を閉ざしてしまうのです。

友子プロジェクトでは、ドロップアウトした女の子の家庭を訪ね、「あなたの娘さんにもう一度チャンスを与えてください。」と呼びかけます。「娘さんは頭が悪いのではなく、勉強する環境が必要なのです」と。友子プロジェクトは毎年30人の女の子たちの学習支援をしてきました。まず、親の理解を得て家で勉強する時間を確保します。また、

年に数回、ヘムラータさんの家で一週間の勉強合宿を開きます。試験勉強の準備をはじめ、保健衛生の大切さ、家庭マネジメント、手に職をつける訓練（裁縫教室など）、思春期を迎える女の子たちの体の変化などについて学びます。生活に根差した学習の機会を通して女の子たちは初めて自分の命について深く考えます。そして、将来に対して夢を描き始めます。

この10年間で288人の女性たちが友子プロジェクトの支援を受け、238人が高校を卒業することができました。中には看護師、学校の先生、役所職員、子供のデイケアセンターの開設など、公的な形で社会に貢献している女性たちがいます。その女性たちを見て、農村部の女の子たちは「わたしもあのようにになりたい。」といつしか自分の人生に対して夢を持ち始めています。

友子プロジェクトは小さな営みですが、女性たちが社会のリーダーとして立ち上がる精神的サポートの現場となっています。

Jeffrey Mensendiek (ジェフリー・メンセンディーク)

1961年米国・ニューヨーク州生まれ。幼少期を仙台で過ごす。
2011～2012年日本基督教団東北教区センター・エマオの主事
として被災者支援に関わる。2014年より現職。

第59回 神戸市民クリスマス キャロリング in KOBE 『みんなで祝おうクリスマス』

聖句「学者たちはその星を見て喜びにあふれた。」
マタイによる福音書 2章 10節

日時 12月15日(金) 17:00～21:30

会場 日本基督教団 神戸栄光教会

入場無料 (どなたでもご参加いただけます)

<http://www.kobeymca.org/shiminxmas/>



神戸YWCA LOVE and PEACE バザー 2017

一人ひとりが
大切にされる
社会をめざして

11月23日(木・祝)、本館にて「LOVE & PEACE バザー」を開催した。ボランティアを含め来場者約300人、約50万円以上の売上があった。

今年のバザーは様々な取り組みを行った。変化を恐れては何も変わらないし、既存の形ではバザーが持続できないからだ。このような点から、①バザーの日程変更、②SNSによる(積極的な)ボランティア募集、③ラッキーカードの変革、④神戸YWCAを支えてくださっている地元の企業と相互関係の構築、⑤環境問題、に取り組んだ。

具体的には、①10月の体育の日から11月に変更したが、集客面では問題がなかった。3連休を自由に使

えたという声も聞かれた。②SNSによるボランティア募集が新たな出会いを生んだ。バザーの担い手不足問題は軽減された。③(会員からの寄贈品のみだった)ラッキーカードの景品に、地域のお店のクーポン券を加えた。協賛のお願いに伺うことでお互いを知り、よい関係を築くことができた。④神戸YWCAを支えてくださっている地元の企業の商品をバザーに取り入れ、販売・PRをした。お互いに支え合う関係づくりが大切だ。⑤エシカルファッションフェスの流れを受け、「わいわいランチ」で使用しているリサイクル容器を寄贈いただき、カフェで使用した。最初はリサイクルの方法が周知されずうまくいかなかったが、説明すると、スムーズに進んだ。

今後も運営方法を見直さなければ、バザーの持続は難しい。このように変化していくバザーを皆さん、どう思いますか？

(小川 佐由理)

☆ご協力に感謝いたします☆

協賛企業の皆さま

味の素(株)/伊那食品工業(株)/(株)上野商店/エキストラ珈琲(株)/江崎グリコ(株)/エム・シーシー食品(株)/(株)神戸風月堂/生活協同組合コープこうべ/ネスレ日本(株)/林商店/持田ヘルスケア(株)/(株)ヨコタ東北/六甲バター(株)

出店いただいた皆さま

神戸カメックス/宝光堂/夢色遊び・糸遊び/飛鳥工房/ワンビレッジ・ワンアース/古着屋トゥピ/プチパンソー/ふらわあぼえむ/シティーライト

ラッキーカード協賛店の皆さま

イスズバーカリー/IN THA DOOR BREWING/王子家/CAFE+/グリーンヒルホテル神戸/神戸アジア食堂バルSALA/カフェ・パール ころべっこ/サロン・ド・ゆめさき/Chez SABURO/四宮軒/鉄板食堂ちえり/古着屋トゥピ/二代目串勝家/二宮市場正進会(西田果物店/やさいのこいみず/神戸コピー/丸沖水産/中央花園/岩田屋/宇治茶園/古川鮮魚店)/梅苑酒家/hair n-FIELD/港庵/神戸ゲストハウス Minato Hütte/元町映画館/La Dolce Vita ~ atelier yumie ~

TASTE THE WORLD

世界の料理を食べよう!

「日本語教師が語る『UAEで暮らして』」

10月21日(土)、台風21号が接近する最中、江口清子さんを迎え、UAE(アラブ首長国連邦)での暮らしについてお話を伺った。約30人の参加があった。

江口さんは、元会員で、神戸YWCAの日本語教師養成講座で教鞭をとっておられたが、その後、ハンガリーや国内外で日本語教育に携われ、アブダビにある王立の高校で日本語教師を3年された。

TTWというと、食しながら文化を知る!まず、アラブの家庭料理マクルーベ(鶏肉のまぜご飯)と、きゅうりとヨーグルトの冷製スープをいただいた。講師の笑顔と優しい雰囲気の中、話が始まった。印象的だったのは、ムスリム社会での女子学生の話。男子校舎と女子校舎が違う場所にあり、江口さんが赴任された学校では、男子校は新築、女子校は大学跡地。女性の結婚は早く、基本的に親が決めたお見合いで、結婚当日まで会わない場合もある。現代社会



江口清子さんと
おいしいアラブ料理

は、SNSにより全世界の情報を知ることができる。決められた戒律を守ることに息苦しさを感じないのか気になったが、女性は肌の露出はできないものの、全身をすっぽり包むアバヤの中では好きな物を身につけ、ヘンナでお洒落したり、主張している話を聞きホッとした。最近奇妙な事件の多い日本社会。生まれた時から忠実に守るべきことが決まっている彼らと、実はどちらが息苦しいのだろうか。ふと思った。

参加費の一部と江口さんがカンパしてくださった交通費は、次の赴任先であるバングラデシュの洪水被害のためにバングラデシュYWCAへ寄付させていただきます。(小野木 愛)

世界YMCA/YWCA 合同祈禱週

テーマ「立ち上がり、思い切って言いなさい
～抑圧や、差別におかれた人々の声を～」

私たちは現代を生きる Anawim(ヘブライ語で「弱く小さく、声を挙げられない現実を生きる人たち」との関わりを通して、自らも変えられ、共に喜びの声をあげることができる。YMCA/YWCAの活動は、これらのことを担っているのだ、と思いを新たにしたい。参加者47人。

(野村 春美)

●わいわい科学クラブ (小学生対象) **本館**

12月16日(土)
「コイル・モーターIIをまわそう」①10時～11時30分②13時～14時30分 *申し込み必要
参加費 300円
1月27日(土)
「分光シートの光万華鏡をつくろう」
①10時～11時30分②13時～14時30分
*申し込み必要
参加費 200円

●ちやいやあらんど **分室**

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
12月20日(水)、1月17日(水)、31日(水)
11時～15時
参加費 100円(1回)
1月15日(月)10時～14時
「日本料理・台湾料理それぞれの料理を紹介しよう」
(「ママの日本語」との交流プログラム)

●地域のお店くるくる **分室**

12月21日(木)・1月18日(木)
13時～15時30分
ステキなりサイクルファッションのお店「くるくる」
は毎月第3木曜日オープン!

●神戸・越冬活動(夜回り準備会)

ボランティア募集!
12月29日(金)10:00～15:00
場所 東遊園地(中央区加納町、公園の一番南端)
震災のあった1995年12月から翌年1月にかけて、
市役所南側の東遊園地に宿泊用のテントを張り、
「冬の家」として、野宿を余儀なくされている人たちと
共に行政の施策の充実を求めたのが始まりです。
神戸YWCA夜回り準備会は、毎年チキンカレーの炊き出しを
担当しています。

●カフェもぐもぐ **分室**

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
1月6日(土)10時～15時
参加費 700円
*昼食はカレーを作って食べます(要予約)。

●木曜カフェ **分室**

毎週木曜日 14時～15時30分
マルシェとカフェでほっこりしませんか?
あったか～いコーヒー・紅茶(100円)
「えんびつの家」の食パン、あんパン、くるみパン、
「求める会」の調味料や食材、「いちじま丹波太郎」
の有機・減農薬野菜、「ほっとすてーしょん」(第3・4のみ)
「シティライト」(第4のみ)の焼菓子など、
今週はどんないいものがあるか、お楽しみに!

冬季休館のお知らせ

本館 2017年12月25日(月)と29日(金)～2018年1月5日(金)まで(まごの手・保育園を除く)
分室 2017年12月23日(土・祝)～2018年1月8日(月・祝)まで

■分室だより

「夜回り準備会」は野宿したくない人がしなくて済むことと、野宿せざるを得ない人の人権を守ることをめざしてきた。

野宿する人が減ってきたのはいいが、公園などで寝られなくなり、問題は違った様相を呈している。高齢者が建て替えを名目に賃貸契約解除を迫られ、住まいを失う、新しく借りるのも難しいというケースが増えているようだ。

あなたのそばに、住まいや生活に困っている人がいたら、教えてほしい。

(夜回り準備会・野々村 耀)

■まごの手だより

神戸YWCAまごの手創立20周年にあたる今年の11月26日(日)、関本雅子医師を

迎えて記念講演会を開催。在宅ホスピスケアの意義を再確認した。20周年を共に喜び、祝い、感謝のひとときを持つことができた。

現在、まごの手では、ホームヘルパー、サービス提供責任者を引き続き募集している。在宅ケアの良き担い手をご紹介ください。

(所長・寺内 真子)

■運営委員会報告

(10月)【報告】理事会▶3市YWCA合同合宿ふりかえりミーティング@京都YWCA▶日本YWCA関連①国連CSW派遣②YWCAフェスタin京都③南アジア洪水被災者募金【議事】山本かえ子運営委員退任後の役割分担▶神戸YWCA組織変革への具体的取り組み▶

今後のスケジュール確認

(11月)【報告】理事会▶日本Y募集①日韓ユース・カンファレンス②南京を考える旅③地域Yを主体とした活動エントリー▶YWCAフェスタin京都への参加と分科会エントリー▶バザー進捗▶ボランティア説明会▶100周年記念事業準備委員会【議事】ボランティア説明会▶2018年度神戸YWCAビジョンと活動目標の決定▶100周年・作業日程の確認と定期会員集会議事▶日韓ユースカンファレンス・クラウドファンディング呼びかけ▶後援依頼の承認①神戸大学YMCA(クリスマスゴスペルコンサート)②神戸いのちの電話(相談員養成講座・公開講座)

(書記・掛橋 智佳子)

一人ひとりが大切にされる
社会を目指して

冬季
クリスマス
募金

にご協力ください

「冬季クリスマス募金」は全て神戸YWCAの社会貢献活動のために用います。

神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります(個人)。詳しくは事務局へお問い合わせください。

郵便振替

01100-0-10298
公益財団法人神戸YWCA

*通信欄に「冬季クリスマス募金」とご記入ください。

■新入会員

柴田 瑠美 (敬称略)

■新入会友

池田 清 (敬称略)

■賛助員

大前 崇介 西野 陽子
飛田 雄一 モーア ウィリアム (敬称略)

■訃報

11月27日、戸山恭子さんが、93歳で天に召されました。神戸YWCAの会長・理事・幹部委員として、長きにわたり重要な働きをされ、神戸YWCAを支えてくださいました。

■編集後記

合同祈禱週の礼拝に、10・11月号の1面の記事と祈禱週のテーマを読み、来られた方がいた。つながって、うれしかった。(H・N)



ゴーフル®
いいものは時代をこえて
生き続けます

神戸且月堂
本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭
代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みく に
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます
尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>